年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　　保健体育　　科目　　体育(2単位)

教　科：　保健体育」　　科　目：　体育　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A 組～　H 組

使用教科書：（ 大修館書店　　）

教科　体育　　の目標：　　事故・ケガの防止に努め、生徒の自主性を促しながら、記録・体力の向上を目指す。

【 知　識　及　び　技　能 】　今までに身に付けた運動能力や知識を基礎に、様々な練習方法や作戦を駆使して運動することができること。

【思考力、判断力、表現力等】　今までに身に付けた運動能力や知識を基に、自己の体を使って様々な運動を表現すること。

【学びに向かう力、人間性等】　運動を通して仲間とコミュニケーションをとり、協力して取り組むこと。

科目　体育　　の目標：　　事故・ケガの防止に努め、生徒の自主性を促しながら、記録・体力の向上を目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたって必要な運動の知識や技能を身に付け、自身の健康を保持増進するとともに、生涯にわたってスポーツライフを実践しようとする。	運動を通して、自身の考えを正確に伝えたり、他者の考えを正確に聞き取り、協力して様々な運動を表現しようとする。	自身の体力・技術の向上のみならず、他者への助言を通して協力して、運動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	・オリエンテーション 【知識及び技能】 体育の約束事を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 体育の約束事を理解し、実践させる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力して約束事を守らせる。	・授業時の服装や施設の説明、禁止行為や年間授業種目の説明、感染症対策を理解する。　・オリエンテーション資料	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を実技テストやワークシート、日頃の取り組みなど各観点に基づいて評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。	○	○	○	2
前期	・体つくり運動/体育理論 【知識及び技能】 スポーツテスト及び体育祭種目のルールを把握し、実施させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツテスト及び体育祭種目の運動を他者と協力して表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力して実施させる。	・新体力テストの計測の仕方や内容を理解する。 ・新体力テストの安全面を理解する。 ・スポーツテスト各種目の用具 ・体育祭各種目の用具	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を実技テストやワークシート、日頃の取り組みなど各観点に基づいて評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。	○	○	○	10
前期	・水泳/球技 【知識及び技能】 水泳 背泳ぎ・バタフライを習得させる。　球技　男子：サッカー・テニス 女子：バドミントン・テニス 基礎基本を定着させる。 【思考力、判断力、表現力等】 水泳 背泳ぎ・バタフライの泳ぎ方とタイム向上について協力して実践させる。 球技 それぞれの種目について仲間と協力して基礎を徹底させる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者に助言したりされたりして、協力して実施させる。	水泳　・キックとストロークに分け、一つ一つの動作を確認する。 ・呼吸の仕方やタイミングを指導し、長く泳げるようにする。 ・水泳に必要な用具　・ワークシート　球技 ・基本的な技術を定着させ、周囲に教えたり、周囲から教わったりする。　・課題のある技術や戦術について、周囲と相談しながら練習を考え、教え合いながら改善に取り組む。 ・各種目に必要な道具　・ワークシート	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を実技テストやワークシート、日頃の取り組みなど各観点に基づいて評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。	○	○		24
後期	・体つくり運動/体育理論 【知識及び技能】 ストレッチやトレーニングを通して必要性を確認させる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々なストレッチやトレーニングを部位別に考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者に助言したりされたりして、協力して実施させる。	・ストレッチやトレーニングを通して、重要性や必要性を実感させ、生涯にわたって取り組めるような運動を考えさせながら取り組む。　・ストレッチやトレーニングに必要な用具　・ワークシート		○	○	○	8

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	持久走/球技 【知識及び技能】 持久走 クーパー走や記録会を通して自己のペースを把握し、自己ベストタイムを出させる。 球技 ・男子：バドミントン・テニス 女子：サッカー・テニス 【思考力、判断力、表現力等】 持久走 球技 ・男子：バドミントン・テニス 女子：サッカー・テニス それぞれの種目について仲間と協力して基礎を徹底させる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者に助言したりされたりして、協力して実施させる。	陸上　自己のペースを把握して、安定して長い距離を走れるように取り組む。　球技 ・基本的な技術を定着させ、周囲に教えたり、周囲から教わったりする。　・課題のある技術や戦術について、周囲と相談しながら練習を考え、教え合いながら改善に取り組む。 ・長距離走に必要な用具　・球技の各種目に必要な用具	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を実技テストやワークシート、日頃の取り組みなど各観点に基づいて評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。	○	○	○	34
							合計 78

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　　保健体育　　科目　　体育

教　科：　保健体育　　科　目：　体育（柔・剣・ダンス）　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　1 学年　　組～　　組

使用教科書：（　　）

教科　体育　　の目標：　　事故・ケガの防止に努め、生徒の自主性を促しながら、記録・体力の向上を目指す。

【 知　識　及　び　技　能 】　今までに身に付けた運動能力や知識を基礎に、様々な練習方法や作戦を駆使して運動することができること。

【思考力、判断力、表現力等】　今までに身に付けた運動能力や知識を基に、自己の体を使って様々な運動を表現すること。

【学びに向かう力、人間性等】　運動を通して仲間とコミュニケーションをとり、協力して取り組むこと。

科目　体育　　の目標：　　事故・ケガの防止に努め、生徒の自主性を促しながら、記録・体力の向上を目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたって必要な運動の知識や技能を身に付け、自身の健康を保持増進するとともに、生涯にわたってスポーツライフを実践しようとする。	運動を通して、自身の考えを正確に伝えたり、他者の考えを正確に聞き取り、協力して様々な運動を表現しようとする。	自身の体力・技術の向上のみならず、他者への助言を通して協力して、運動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	・オリエンテーション 【知識及び技能】 体育の約束事を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 体育の約束事を理解し、実践させる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力して約束事を守らせる。	・授業時の服装や施設の説明、禁止行為や年間授業種目の説明を理解する。　・オリエンテーション資料	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を実技テストやワークシート、日頃の取り組みなど各観点に基づいて評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。	○	○	○	1
前期	・基礎練習 【知識及び技能】 基礎や理論、基本的な動きを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 基礎や理論、基本的な動きを理解させ、自己の体を使って表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力して実施させる。	・柔道・剣道の礼法や着装を行う。　・ダンスの基本的な動作の説明や実技を行う。　・ワークシート　・武道に必要な道具　・音楽、太鼓	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を実技テストやワークシート、日頃の取り組みなど各観点に基づいて評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。	○	○	○	12
後期	・基礎/応用 【知識及び技能】 基礎基本を定着させる。 基礎基本を応用させる。 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本から応用させた時に自己の体を使って発展して表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者に助言したりされたりして、協力して実施させる。	・柔道の様々な種類の受け身や剣道のすり足や竹刀操作を行い、発展的な動きができるようにする。 ・ダンスの基本的な動きから自身で振付を考えられるようにする。 ・ワークシート　・武道に必要な道具　・音楽、太鼓	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を実技テストやワークシート、日頃の取り組みなど各観点に基づいて評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。	○	○		12
後期	・自由練習・形/ダンス発表 【知識及び技能】 基礎基本から発展させ、相手の動きに応じた動きや、発表に向けての振付や役割の確認を行わせる。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の動きに応じたり、発表に向けた準備を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者に助言したりされたりして、協力して実施させる。	・柔道の基本的な動作を大切に相手の動きに合わせた自由練習を行えるようにする。・剣道の形では形のみならず相手との間合いや呼吸を合わせて行うことができるようにする。・ダンスでは今までの総まとめとして自己で振付を考え課題に合ったダンスを表現できるようにする。 ・ワークシート　・武道に必要な道具　・音楽、太鼓	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を実技テストやワークシート、日頃の取り組みなど各観点に基づいて評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。	○	○	○	10
							合計 35